

平成 27 年度大学生の力を活用した集落復興支援事業

実証実験実施報告書

平成28年3月

作新学院大学まちづくり研究会

対象地域概要

- 1) 福島県郡山市中田町柳橋地区は郡山駅から東へ16km離れた阿武隈山脈の西側、標高450mの山間地に位置する自然豊かな集落で、東西を結ぶ県道小野郡山線、南北を結ぶ県道飯野三春石川線が交差する交通の結節点でもあります。
- 2) 地区の歴史は古く、江戸時代から続く伝統芸能文化（柳橋歌舞伎、三匹獅子舞、太々神楽、篠坂神楽）を継承する団体があり、伝統を重んじる集落です。
- 3) 人口は770人、世帯数は220であり、集落の高齢化率は34.5%（26年1月1日）となっています。



柳橋は毎年歌舞伎公演を行う伝統芸能の里です



私たちは昨年度から、将来に向けての柳橋のまちづくりの計画ワークショップを行ってきました

26年度ワークショップの様子
事業案の絞り込みをしています



昨年度は柳橋地区のまちづくり事業を、4つのテーマにまとめて提案しました

- ＊住民が地区の自然を楽しみ、それを外の人と分かち合える地区に
- ＊地域の産業おこしは休耕地の活用から道の駅・農村レストランの夢実現へ
- ＊高齢者の知恵と技を活かして生きがい創出を
- ＊柳橋の良さを外に向かってPRする

そして今年度は提案事業を試行する年でした

その事業は次の4つです

子供塾事業

世代間の交流で、子供たちは地域の知恵を学び高齢者は生きがいを見つける

特産品開発事業

地域の農産物を原料に歌舞伎公演土産のお菓子を生産・販売

山がある事業

地域の名山「鞍掛山」のハイキングを山ガールとともに楽しむ

ホームページ立ち上げ事業

工事中

子供塾

地域の高齢者と子供たちの交流の場づくり

地域の生活の知恵を子供たちに伝える
高齢者には子供と遊ぶ楽しさが生きがいに結びつくように



山から伐り出した竹で流しそうめん



8月23日 子供塾実施 地区の小学生全員12名、大人6名、学生9名が参加し、資源回収作業の後、すいか割、バーベキュー、青竹伐採流しそうめん、ゲームなど、楽しい1日を過ごしました。

歌舞伎公演サポートと特産品開発

昨年同様、歌舞伎公演会場の設営のお手伝いをして

さらに地元農産物を使って開発したお菓子を、歌舞伎公演のお土産として販売しました

将来の農村レストランづくりに向けて食堂の運営も考えましたが、お母さん方が忙しく、断念しました



9月6日 地域の伝統芸能 歌舞伎の準備活動（歌舞伎幟旗の作り）農産物、特産品売り出しの話し合い。
9月20日 歌舞伎公演本番 見学 手伝い 特産品の売買



鞍掛山ハイキング（山がある事業）

地域の豊かな自然を楽しむイベントを都会の山ガールと共有したいという思いで、

山がある事業を企画しました

スポーツ専門店で協力をお願いし、参加山ガールを募集しましたが、残念ながら参加者はなく、学生山ガールで我慢していただきました



10月25日 「山がある事業」 鞍掛山登山大会（ビンゴゲーム、抽選会、記念品）
快晴（ただし強風）の下、地域の方々11名、学生4名で蔵掛山ハイキングを行いました。



柳橋地区の皆様 ありがとうございました

- ▶ 私たちを温かく迎え入れて下さり、一緒にいくつもの新しい挑戦をしていただいたこと、心から感謝いたしております。
- ▶ ここでの経験が、私たちの一生の宝物になりました。
- ▶ 来年度も形を変えて、後輩たちがまちづくりに関わらせていただければ幸いです。

福島県の皆様 ありがとうございました

- ▶ 「大学生の力を活用した集落復興支援事業」という形で私たちに柳橋の皆様と接する機会をいただいたこと、心から感謝いたしております。

2年間の柳橋プロジェクトを通して私たちができたことは、集落の方々に笑顔をお届けすること、子供たちと一緒に遊ぶこと、自分の意見を言うことなど、地域の方々の活動に寄り添うことだけであるように感じました。しかし、調査や交流、ワークショップなどで柳橋の沢山の魅力を発見できたことは得難い経験でありました。

この地区の魅力は自然だけに留まらず、住民の方々の人柄です。柳橋の住民の方々は思いやり外があり親切で、私たちが行くたびに、「大変だったね」「来てくれて有難う」などの声掛けや励まし、その上沢山おいしい料理もいただきました。地元手作りのお土産まで何回もいただいたことがあります。留学生の私にとっては家族のように感じました。私たちは地域の活性化のために参加したのですが、逆に元気ややる気をいただき、本当に感謝しています。また訪問回数を重ねていく度に住民の方たちとの距離が縮まり、親しくなっていくこともうれしく感じました。ありがとうございました。